

令和2年度第1回多摩市総合教育会議 要点録

令和2年5月7日（木曜日）

出席委員（8名）

市長	阿部 裕行
副市長	浦野 卓男
副市長	田代 純子
教育長	清水 哲也
委員	岩佐 玲子
委員	谷代 美保子
委員	鈴木 充
委員	原島 久男

説明職員（6名）

企画政策部長	藤波 裕永
企画課長	田島 元
教育部長	鈴木 恭智
教育部参事・教育指導課長事務取扱	細谷 俊太郎
教育部参事・教育指導課統括指導主事事務取扱	山本 勝敏
教育企画担当課長	室井 裕之

1 開会

市長 令和2年度第1回多摩市総合教育会議を開催する。

2 協議・調整事項

市長 本日の議題に入る。テーマは1件あり、「新型コロナウイルス感染症対策における『緊急事態宣言』の延長に伴う対応について」である。

先般、新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条に基づく緊急事態宣言の期間が令和2年5月31日まで延長されたことを受け、教育委員会においても必要な対応をとっていただきたい。本日、これから開催される定例会において、対応などを決定されると聞いている。これに先立ち、私の考え、要望等をお伝えしたい。

4月6日から1か月が経過し、緊急事態宣言はさらに1ヵ月延長され、5月31日までとなった。

東京都内もまだ感染者が多く、（休校等の対応を）継続していく意向である。

議論していただきたいのは、「正しく恐れながら、どのようにしたら子どもたちに学びの場を提供できるか、教育を受ける権利が奪われることのないようにできるか」ということである。

小学校新1年生など、まだ先生と1度も会っていないなど、学校生活で一番大事なコミュニケーションの機会が奪われている。オンライン授業も、環境が整ってきてはいるが、学校教育は、対面で社会的なことを学ぶことが大事でもある。

また、家庭によって状況も異なり、データ通信できる容量の制限によりオンライン授業を受けることが制限される家庭もある。新型コロナウイルス感染症は夏に落ち着くかもしれないが、また秋に感染が蔓延する可能性も指摘されており、オンライン授業は引き続き重要なものである。

教 育 長 オンライン授業について、小学校低学年でのオンラインの双方向の授業は難しいと思う。現状では、eラーニングを行っている。また、講義を視聴して課題に取り組むオンデマンドの授業にも取り組む。

これから、8月くらいまでのロードマップを考えていかなければいけないと思っている。まとめると、前述のICTを活用した教育を進めることと、対面できる分散登校日を設けること、この2つを組み合わせながら、学習の保障を行う。

市 長 また、虐待の可能性も想定されるので、登校日に心と身体を観察することも大事である。5月14日に臨時市議会を行う予定であり、6月の定例市議会もあるので、それに向けて議論してもらいたい。

なお、多摩市では、市内にPCR検査センターを設けるので、情報共有のためお伝えする。

3 閉会

市 長 さらに、緊急事態宣言期間中における学校教育をはじめとする教育施策について、補正予算を伴う対応等についてもあると聞いているので、来週5月11日にこの会議を開催する予定である。

令和2年度第1回多摩市総合教育会議を閉会する。